

科目	動物形態機能学（血液学）		
担当講師 北島 眞実子 実務経験有 獣医師免許 大学卒業後動物病院に10年間勤務し獣医療に従事			
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 2年次前期	講義	必修	30
授業目標 血液の働き、成分、循環にかかわる形態と機能について学ぶ。生物は、細胞によって構成されているが、細胞は、エネルギーによって活動できる。そのエネルギーは、酸素及び栄養成分によって得られる。これらの成分は、血液を介して全身に送られている。この血液の役割を理解することを目的とする。			
成績評価の方法 評価の基準は筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。			
教 材 動物看護コアテキスト2巻 動物形態機能学（P105～119）、3巻 動物の疾病と予防及び回復（P21～30,32～33,197～197）、6巻 動物看護の実践（P72～87,90～92,303～305）（ファームプレス）、講師資料			
授業計画 毎週月曜日 1限目 9:10～10:40			
回	テーマ	授業内容	
1	血液の働き	血液成分と働き（2巻 P105～106、6巻 P72～87,P303～305）	
2	赤血球の形態と働き	赤血球の形態と種類（2巻 P106～107、6巻 P78～80,303～304）、網状赤血球（6巻 P78～80）	
3	赤血球の寿命と評価	赤血球の老化と寿命、赤血球の評価及び疾患（2巻 P106～107、6巻 P78～80,P303～306）	
4	白血球の種類と働き	白血球の種類と役割（2巻 P107,P132～134）、白血球の疾患（6巻 P306～309,P326）	
5	その他の血液成分と役割①血小板、②血漿	血小板（2巻 P107、6巻 P86,P90）、血漿（2巻 P107、6巻 P305）	
6	その他の血液成分と役割①無機塩類、②血漿タンパク質	無機塩類、血漿タンパク質（2巻 P107）	
7	血液に関する臓器と組織 1	心臓の形態と心電図（2巻 P109～111）	
8	血液に関する臓器と組織 2	血液循環とリンパ系循環（2巻 P112,117～118）	
9	血液凝固	血液凝固（2巻 P107～108）、止血（3巻 P25～26,P196～197）	
10	血液型 1；血液型とは：イヌとネコの血液型	血液型（2巻 P108～109）	
11	血液型 2；白血球型と血漿タンパク質型	MHC（3巻 P39～40）	
12	輸血について 1	イヌとネコの輸血（6巻 P311）	
13	輸血について 2	クロスマッチテスト（2巻 P108）	
14	まとめ	血液に関する問題を中心に	